

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月28日

上場会社名 株式会社 ウェッズ
 コード番号 7551 URL <http://www.weds.co.jp>

上場取引所 JQ

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川口 修
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役商品本部長兼管理本部長 (氏名) 谷越 時義
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日 配当支払開始予定日

TEL 03-5753-8201
 平成21年12月10日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	8,082	△11.8	18	—	36	△34.1	32	53.0
21年3月期第2四半期	9,161	—	△15	—	55	—	21	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	7.60	—
21年3月期第2四半期	4.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	11,713	6,330	54.0	1,498.34
21年3月期	11,548	6,589	57.1	1,493.75

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 6,330百万円 21年3月期 6,589百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
22年3月期	—	7.50	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	△6.7	450	61.7	450	47.5	210	88.6	48.45

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 4,445,000株 21年3月期 4,445,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 219,862株 21年3月期 162株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 4,333,759株 21年3月期第2四半期 4,444,880株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご確認下さい。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、サブプライムローンに端を発した米国経済の減速やリーマンブラザーズの破綻に端を発した世界同時金融不安により、昨秋以降国内では企業業績と個人消費の落ち込みと為替・株価の変動により、引き続き景気の低迷が懸念される状況となり、特に個人消費は、雇用状況の悪化に加え、所得環境も一段と厳しさを増しております。一方、今春の定額給付金、エコカー減税、エコポイント制度などの施策効果から一部には下げ止まりの動きがみられる状況となりました。しかしながら、当社グループと密接な関係にある自動車業界や自動車用品のアフターマーケットの需要は依然として低調に推移しております。

このような環境において、当社グループは懸命な営業活動と利益体質強化に努めた結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は自動車関連卸売事業、開発事業の減収等により8,082百万円（前年同期比11.8%減）、当第2四半期連結累計期間の営業利益は18百万円（前年同期は15百万円の営業損失）となりました。当第2四半期連結累計期間の経常利益は36百万円（前年同期比34.1%減）、第2四半期連結累計期間に特別利益を19百万円計上したことにより当第2四半期連結累計期間の純利益は32百万円（前年同期比53.0%増）となりました。

(セグメント別の概況)

(単位：百万円)

		自動車関連卸売事業	自動車関連小売事業	開発事業	福祉事業	その他	消去	連結
売上高	当第2四半期連結累計期間	6,377	798	339	262	354	△51	8,082
	前第2四半期連結累計期間	7,252	740	669	234	342	△77	9,161
営業利益又は営業損失(△)	当第2四半期連結累計期間	△8	△6	△18	32	17	1	18
	前第2四半期連結累計期間	5	△57	7	28	△0	0	△15

(自動車関連卸売事業)

自動車関連卸売事業は個人消費の低迷の影響により、売上高は6,377百万円となり前年同期比875百万円(12.1%)の減収となりました。これはスチールホイールの販売本数の減少と廉価ホイール等の販売単価が下がったことにより減収となったためであります。一方、営業損失は8百万円となり前年同期比13百万円の減益となりました。売上高の減少をカバーしたのは、販売費の削減と売上原価の減少により改善したためであります。

(自動車関連小売事業)

自動車関連小売事業は個人消費の低迷が懸念されましたが、今春のETC特需以降も好調に推移した結果、売上高は798百万円となり前年同期比58百万円(7.9%)の増収となりました。一方、営業損失は6百万円と前年同期より50百万円の改善となりました。これは売上の増収と売上原価が下がったことによるものであります。

(開発事業)

開発事業は中央精機㈱等に対する機械設備納入の減少により、売上高は339百万円となり前年同期比329百万円(49.2%)の減収となりました。営業損失は18百万円となり前年同期比25百万円の減益となりました。

(福祉事業)

福祉事業は有料老人ホームの順調な推移により、売上高は262百万円となり前年同期比28百万円(12.2%)の増収となりました。営業利益は32百万円となり前年同期比12.0%の増益となりました。

(その他)

携帯電話代理店事業は売上高は354百万円となり前年同期比11百万円(3.5%)の増収となりました。一方、営業利益は17百万円となり前年同期比18百万円の改善となりました。これは、販売費の削減と携帯電話の販売手数料率が上がり売上原価が下がったためであります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末における総資産額は11,713百万円となり、前連結会計年度末比164百万円の増加となりました。主たる要因は、販売額減少に伴う売掛債権が327百万円減少し、冬期需要に向けた商品在庫が357百万円増加したこと、加えて現在建設中であります福祉事業のグレイシャスビラ安城の増築工事の建設仮勘定が120百万円増加したためであります。負債総額は5,382百万円となり前連結会計年度末比423百万円の増加となりました。主たる要因は、長短借入金が増加したことと買掛金債務が162百万円増加したためであります。これらの結果、純資産額は6,330百万円となり前連結会計年度末比258百万円の減少となりました。主たる要因は繰延ヘッジ損益の減少と自己株式取得による減少であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期における業績の進捗を勘案し、平成22年3月期の第2四半期累計期間（連結・個別）及び平成22年3月期通期（連結・個別）の業績予想を修正しております。詳細は平成21年10月28日付にて別途開示いたしました、「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	632,695	646,389
受取手形及び売掛金	2,614,975	2,942,906
商品	2,664,910	2,279,229
仕掛品	216,665	273,411
原材料及び貯蔵品	62,787	34,638
繰延税金資産	192,660	48,794
その他	358,721	426,448
貸倒引当金	△2,716	△2,274
流動資産合計	6,740,699	6,649,543
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,151,731	3,149,360
減価償却累計額	△1,578,833	△1,527,746
建物及び構築物 (純額)	1,572,898	1,621,613
土地	1,431,320	1,431,320
建設仮勘定	261,120	141,120
その他	474,984	471,368
減価償却累計額	△329,947	△307,278
その他 (純額)	145,037	164,090
有形固定資産合計	3,410,375	3,358,144
無形固定資産		
のれん	204,250	212,900
その他	126,570	137,765
無形固定資産合計	330,820	350,665
投資その他の資産		
投資有価証券	637,310	589,712
繰延税金資産	31,022	32,405
その他	570,324	606,801
貸倒引当金	△6,881	△38,588
投資その他の資産合計	1,231,776	1,190,330
固定資産合計	4,972,973	4,899,141
資産合計	11,713,672	11,548,684

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,069,837	907,237
短期借入金	2,089,926	1,739,926
未払法人税等	16,418	137,879
携帯電話短期解約返戻引当金	108	178
賞与引当金	139,240	156,173
役員賞与引当金	17,401	28,800
その他	525,391	369,082
流動負債合計	3,858,323	3,339,278
固定負債		
長期借入金	1,102,427	1,217,390
繰延税金負債	84,287	59,103
退職給付引当金	44,197	42,666
役員退職慰労引当金	125,046	148,002
その他	168,714	152,970
固定負債合計	1,524,672	1,620,132
負債合計	5,382,996	4,959,410
純資産の部		
株主資本		
資本金	852,750	852,750
資本剰余金	802,090	802,090
利益剰余金	4,840,087	4,840,237
自己株式	△86,032	△12,418
株主資本合計	6,408,895	6,482,659
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	21,916	530
繰延ヘッジ損益	△99,736	106,519
為替換算調整勘定	△399	△435
評価・換算差額等合計	△78,219	106,614
純資産合計	6,330,675	6,589,274
負債純資産合計	11,713,672	11,548,684

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	9,161,758	8,082,458
売上原価	7,276,676	6,303,661
売上総利益	1,885,082	1,778,797
販売費及び一般管理費	1,900,214	1,760,250
営業利益又は営業損失(△)	△15,132	18,546
営業外収益		
受取利息	700	483
受取配当金	8,392	2,096
販売奨励金	26,238	12,197
デリバティブ評価益	18,708	—
持分法による投資利益	31,231	18,029
その他	7,406	10,606
営業外収益合計	92,678	43,413
営業外費用		
支払利息	21,737	15,777
その他	775	9,909
営業外費用合計	22,513	25,687
経常利益	55,032	36,272
特別利益		
投資有価証券売却益	25,992	—
貸倒引当金戻入額	—	19,350
特別利益合計	25,992	19,350
特別損失		
投資有価証券売却損	23,820	—
投資有価証券評価損	1,824	—
特別損失合計	25,644	—
税金等調整前四半期純利益	55,379	55,622
法人税、住民税及び事業税	9,299	13,193
法人税等調整額	24,547	9,494
法人税等合計	33,846	22,688
四半期純利益	21,532	32,934

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

(単位:千円)

	自動車関連 卸売事業	自動車関連 小売事業	開発事業	福祉事業	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1) 外部顧客 に対する 売上高	7,178,121	740,387	666,615	234,234	342,400	9,161,758	—	9,161,758
(2) セグメン ト間の内部 売上高又は 振替高	74,793	—	2,946	—	—	77,739	(77,739)	—
計	7,252,915	740,387	669,561	234,234	342,400	9,239,498	(77,739)	9,161,758
営業費用	7,247,501	797,629	661,973	205,267	342,706	9,255,078	(78,187)	9,176,891
営業利益又は営 業損失(△)	5,413	△57,241	7,588	28,966	△306	△15,580	447	△15,132

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

(単位:千円)

	自動車関連 卸売事業	自動車関連 小売事業	開発事業	福祉事業	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1) 外部顧客 に対する 売上高	6,327,033	798,579	339,781	262,825	354,238	8,082,458	—	8,082,458
(2) セグメン ト間の内部 売上高又は 振替高	50,596	335	212	—	—	51,144	(51,144)	—
計	6,377,629	798,914	339,994	262,825	354,238	8,133,603	(51,144)	8,082,458
営業費用	6,386,005	805,641	358,386	230,383	336,525	8,116,941	(53,029)	8,063,912
営業利益又は営 業損失(△)	△8,376	△6,726	△18,391	32,442	17,713	16,661	1,885	18,546

(注) 1 事業区分は、当社の内部管理上採用している区分をベースに、製品の種類・性質、販売市場の類似性を考慮し、自動車関連卸売事業、自動車関連小売事業、開発事業、福祉事業及びその他の事業に区分しております。

2 各事業区分の主要な内容

- (1) 自動車関連卸売事業……一般市販市場へのホイールを中心とした自動車関連商品の製造及び販売
- (2) 自動車関連小売事業……一般消費者へのホイールを中心とした自動車関連商品の販売
- (3) 開発事業……設備等の販売、工事請負
- (4) 福祉事業……高齢者向けの複合福祉サービスの提供
- (5) その他……携帯電話代理店

3 当連結累計期間における営業費用のうち「消去又は全社」に含めた配賦不能営業費用の金額はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しています。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しています。

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。